

令和元年度春協議  
財政上の支援措置の改善提案に対する協議の結果

整理番号	63	特区名	京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区		
提案事項の種別	新規 / 拡充				
事業名	キングスカイフロントを中心としたクラスター推進機能の更なる強化とイノベーション・エコシステムの拠点づくり				
事業内容	キングスカイフロントをイノベーションが次々と創出され続ける(=イノベーション・エコシステム)拠点とするため、域内の多様なプレーヤーによる異分野融合研究開発、事業化支援、人材育成、基盤整備など、リサーチコンプレックス推進プログラムの採択を受けて展開してきたプロジェクトをさらに発展させるとともに、それらの活動を統括する推進体制を整備・強化する。				
提案事項の具体的内容	キングスカイフロントを中心としたイノベーション・エコシステムは、JSTの支援プログラムである「リサーチコンプレックス推進プログラム」を活用しながら、中核機関である慶應義塾や提案主体である川崎市、その他の参画機関とともに検討を進め、川崎市産業振興財団を中心とした運営体制を構築し、当特区の目標である規制緩和メニューを用いた革新的医薬品・医療機器の開発・製造や、健康関連産業の創出に大きく貢献してきた。複合型イノベーション推進基盤の構築を支援する「リサーチコンプレックス推進プログラム」が本年度末で終了することを踏まえ、今後もシームレスにクラスターマネジメントを進めるための体制強化、具体的には専門人材を含めた人員体制の強化等や、民間部門の事業パートナーとの連携等を財政的に支援するための新たな制度の創設を要望する。				
1 国と地方の協議	担当省庁の対応	A:概算要求等として引き続き検討		担当省庁名	文部科学省
	担当課名	科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課			
	国の制度名	(拡充提案、代替制度の提示の際に使用) 共創の場形成支援			
	担当省庁の見解	(理由・根拠となるデータ・法令解釈・条件/代替案の内容とその妥当性・論点などを記述) 「リサーチコンプレックス推進プログラム」を含めた拠点型産学連携施策については、来年度からの本格実施を見据えて、その見直しや大括り化について議論・検討しているところ。議論の結果を踏まえつつ、概算要求も含めた方策等については、引き続き検討していく。			
	実施時期	令和2年度概算要求予定	スケジュール		
	指定自治体の回答	b:条件付き了解			
	再度書面協議の希望		再度対面協議の希望		
	理由等	文部科学省において、来年度以降の本格実施を見据えて、拠点型産学連携施策の内容等について議論・検討中であることは了解した。引き続き、同省との情報共有や意見交換を行いつつ今後の動向を注視し、必要に応じて制度設計のあり方等について要望を行っていく。			
	内閣府整理	Ⅱ:実現に向けて概算要求等の検討がなされるもの			
	コメント	文部科学省から、拠点型産学連携施策について議論・検討をしていることが表明され、指定自治体も了解の旨回答があったため協議を終了する。			